**国語辞典で遊ぼう…言葉には住所があり性格や仕事まであるのだ**

これは、ゲームです。今回は隣の人と対戦します。勝ち負けはほとんど運、偶然です。しかし、勝っても負けても、何を学んだかは、あなた次第です。負けてもおもしろかったなら、おそらくよい学びができたといえるでしょう。ことばについての知識がたくさんある人はきっとおもしろいと感じてくれるでしょう。（でも勝ち負けには関係ありませんが）

注意。ここで扱うコトバとは、国語辞典の「見出しのことば」です。例解小学国語辞典（三省堂）では、太い、黒または赤の文字で、一番上から書かれています。ひと文字下げて少し小さい文字で書かれているところは、直接には関係ありません。（表紙の裏側に出ています。確認しましょう。**あいさつ**。その次には**あいしょう**となっていますね。これが「見出しことば」です。どれもひらがなかカタカナです。）

このゲームでは、辞典の中を見てから開けてはいけません。どこでもいいから自分のカンで開けてください。もちろん、閉じたままで、辞典の腹にあるインデックスの文字を見て予想して開けるのは許されます。でも見るときには、絶対に、中は、ちょっとでも開けないでください。偶然に賭けましょう。

では、始めます。

1. 文字数が多い言葉くらべ[例・はまだやまこうえん（９文字）、チョコレート（６文字）小さな「や」「ゆ」「よ」や、伸ばす印は言葉としては、本来は数に入れてはいけませんが、ややこしくなるのでここでは数に入れて数えます]。あけた左右のページの中から、一番長い言葉［多い文字数の言葉］を見つけて、書きましょう。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（　　　）文字

隣の人のは

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（　　　）文字

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　勝ち・負け

合図があるまで次に進まないで待っています。（今後すべてそうします。）

1. 文字数、最少くらべ.。開けたところ、左右のページから、いちばん短い言葉を見つけて書く。

自分

（　　　　　　　　　）（　　）文字

相手

（　　　　　　　　　）（　　）文字

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　勝ち・負け

どういう言葉が長くてどういう言葉が短いのか。何か気が付きましたか。

３、カタカナ言葉、たくさんある方が勝ち。３回開けていいです。それを合計してください。

　　自分（　　）（　　）（　　）計（　　　個）

　　相手（　　）（　　）（　　）計（　　　個）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　勝ち・負け

1. 動き言葉[動詞],例・食べる。笑う。など。辞典では言葉の下に（動）と書いてあります。多いほうが勝ち。３回開けて合計します。（形動）は入れません。

自分（　　）（　　）(　　)計（　　　個）

相手（　　）(　　)（　　）計（　　　個）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　勝ち・負け

４、形容詞の数。**多い**ほうが勝ち。（**形）と出ています**。終りが「０００**い**」となっています。例・さむ**い**、うるさ**い**　などです。**多い、**もそうですね。様子や性質、状態などを表す言葉です。５回開けていいです。注意、｛形動｝は入れません。

　　自分・見つけた単語をすべて書き写すこと。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）計（　）個

　　相手

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）計（　）個

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　勝ち・負け

日本語では、形容詞は少ないようですね。どうして発達しなかったのかな。

1. 少し、高度になります。でも見つけるだけですから。**がんこな和語**・・先生がつけた名前です。「とうとい」は、もちろん、もともとの日本語[和語]ですが、今では漢字を使って「尊い」と書くことができます。しかし、「うるさい」は漢字にはなりません。こういうのを「がんこな和語」と勝手に名前をつけました。**簡単に言うと漢字にならない日本語です。**５回開けて幾つ見つかるか。名詞、形容詞、動詞、何でもありです。「で」とか「に」とかの**助詞**も入れていいでしょう。見出しの言葉にあればいいのです。
	1. ②　　　③　　　④　　　⑤　　　　計（　　　個）

相手　計（　　　個）

　　　　　　　　　　勝ち・負け

1. いよいよ、最後です。**「欲張り言葉」**です。これも先生が命名しました。一つの言葉なのに、たくさんのスペース、文字数、行数を使っている言葉です。行数で勝負です。でも、絵があるので短くなっている行は、長くても短くても２分の１行として数えます。開けた左右のページの中から、一番説明の長い言葉を見つけて、行数を数えましょう。

見つけた言葉（　　　　　　　　　　）説明の行数（　　　行）

相手　　　　（　　　　　　　　　　）説明の行数（　　　行）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　勝ち・負け

どういう言葉が欲張り言葉か、気が付きましたか。

まとめ・感想を書きましょう

（　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名前（　　　　　　　　　　　　　）

書き終わったら読みなおして、題名を付けます。できるだけ短い言葉で題名をつけましょう。。